



VOL. 34

THE NEWS LETTER

2016 WINTER

一般社団法人 日本歯科審美学会
General Incorporated Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

さらなる審美歯科の貢献を

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 齊木好太郎



一般社団法人日本歯科審美学会(以下、本学会)は、1987年(昭和62年)4月に任意団体として設立し、昨年の2015年(平成27年)4月より一般社団法人となり、その間29年にわたり活動をおこなってきました。これも偏に日頃よりの会員皆様方の学会活動へのご理解とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

本学会は、それぞれの専門分野を横断的に包含した学会であり、それゆえ

に歯学研究者・教育関係者、開業臨床医、企業研究者、歯科衛生士、歯科技工士など種々な職種の5,237名(本年10月15日現在)の方々が集う学際的で臨床の色合いの濃い特徴ある学会かと思えます。

今後の社会は、高齢化の進展、それを踏まえた社会制度の検討が進められている状況かと思えます。歯科医療分野では、う蝕・歯周病は減少傾向ですが、人口構成の高齢化を踏まえて従来の歯科医療機関完結型から患者の病態像に応じた歯科医療ニーズに対応すべく医科医療機関・介護保険施設との連携、さらには地域包括支援センターとの連携による地域包括ケア(地域完結型医療)の構築(厚労省平成28年度診療報酬改定の概要より)など今後の方向性が示されております。

このような状況の中で、審美歯科の持つ役割の重要性は多大かと思えます。すなわち、狭義での歯の色彩的、形態的な審美も勿論ですが、歯・口腔環境の持つ機能的役割を維持、向上させることによる身体の健康感、精神的な充足感とともに幸福感が得られ、とりわけ、高齢者への対応が歯科審美の果たす役割であり貢献かと思えます。その意味でも、「教授要綱」を時代に即した要綱にすべく改訂ワーキンググループにて「歯科審美学学習カリキュラム(案)」として纏め、これにより歯科審美学をわかりやすく、また、各職種の専門性を明らかにすべく現在作業を進めているところです。

一方、国際的には、ヨーロッパ歯科審美学会(EAED)、アメリカ歯科審美学会歯科(AAED)、アジア歯科審美学会(AAAD)、韓国歯科審美学会(KAED)等とも交流を重ね、最も大きな組織である国際歯科審美学会(IFED)を来年2017年(平成29年)9月14日~16日に千田 彰大会長のもと富山(富山国際会議場)にて開催いたします。

このように、本学会は各職種の専門性を研鑽すると共に、国民、社会に貢献すべく活動をおこなっておりますので、それを社会に活かすべく会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

IFED大会のご案内

IFED 2017 Toyama (2017年IFED富山大会)のご案内 第2報

大会長 千田 彰・大会組織委員会委員一同

前回のニュースレター(2016年夏号)に引き続き、2017年9月14(木)～16日(土)に日本歯科審美学会(JAED)がホストとして開催する標記 IFED世界大会のご案内を申し上げます。(なお、17日(日)には第28回日本歯科審美学会学術大会が引き続き開催されます)

本大会は、前号でもご紹介した通り、1997年に京都で開催された第2回IFED世界大会以後、日本開催としては20年ぶりの世界大会となります。現在IFED(International Federation of Esthetic Dentistry、1994年設立:<ifed.org>)に加盟する歯科審美系学会は、世界30ヶ国の37学会です。これらの学会のメンバーが2年に一度集うのが世界大会です。この世界大会では、一般的な国内学会の学術大会とは異なり、また会員の研究発表を主とする学会とも異なり、世界有数のいわゆる“Big Name”による3日間(各セッション3名の講師、合計8～9セッション)にわたり、参加者が“学ぶ”学会です。また同時に、より具体的にテクニック、機器、材料を紹介するセミナー、ハンズオンセミナーも開催されます。

セッションとして、CAD/CAM、インプラント、ダイレクトボンディングセッションなどを企画しています。各々に“世界のトップ”の3名の講演者と2名のパネリストを配して、参加者により理解しやすいものになります。最終のプログラムを間もなく大会HP<ifed-2017.com>に掲載する予定で、現在微調整に入っています。遠くはヨーロッパ、アフリカ、ブラジルから、またアジアの世界各国からの参加者も予定されていますので、公用語は英語になりますが、多くの日本人参加者のことを考え、



写真1：コンパクトシティ富山の中心、富山城址公園と国際会議場

すべてのプログラムは同時通訳付きとします(歯科衛生士のみ
のセッションなどについては日本語で行なうこともあります)。

富山市は、典型的な地方小都市ですが、もともと立山、黒部、
五箇山(合掌造りで有名な山村)など世界に誇る観光名所を控え
ています。最近では北陸新幹線の開通によって、さらに観光都市
としての市街整備が進み、その“コンパクト”さを売りにした美
しく便利な観光地となっています(写真1,2)。

(AMAZING TOYAMA検索)

AMAZING TOYAMA MOVIE (English)

<https://www.youtube.com/watch?v=yadm1rJiYCM>

AMAZING TOYAMA MOVIE (日本語)

https://www.youtube.com/watch?v=Frn5CC3l_qs

学会開催期間中も世界と日本各地からの学会参加者の要望に
応えるよう、様々なオプションツアー、無料の市内観光ツアー
などを企画して学会のみでなく観光についても十分満足頂ける
ようにします。

またソーシャルイベントとして、開催初日(14日)には会場(国
際会議場、ANA Crown Plazaホテル)から徒歩あるいは名物の
一つ、Trum(ヨーロッパ風の路面電車)乗車で数分内の開放感い
っぱいの“グランドプラザ”でのウエルカム“露天パーティ”を開
催します。“屋台”、“露店”の味のほか、楽しい催しを参加者み
んなが満喫できることと思います(写真3)。また最終日には、翌
17日開催の第28回日本歯科審美学会との合同懇親会(Gala Dinner)
をANA Crown Plazaホテルで開催します。世界の“Big Name”
と、また海外の参加者と親しく交流頂ける時間になると信じてい
ます。

繰り返しになりますが、大会HP<ifed-2017.com>を逐次ア
ップデートしていますので、詳細をご覧ください、ぜひ多数のご
参加を頂けるよう、“2017年9月14~16(17)日・富山”と予
定表にご記入頂ければ幸いです。



写真2：富山市ガラス美術館
(グランドプラザ、会場にも近接)



写真3：ウエルカムパーティ会場
グランドプラザとTrum

学術大会報告

第27回 一般社団法人日本歯科審美学会学術大会報告

北海道医療大学 歯学部 口腔機能修復・再建学系
クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 大会長 越智守生

第27回一般社団法人日本歯科審美学会学術大会が、平成28年8月27日(土)、28日(日)、京王プラザホテル札幌において開催されました。まずは、本学術大会にご支援をいただきました皆様方に対して心より感謝申し上げます。今回の学術大会は、大会2日目と北海道マラソンの開催日が重なったにもかかわらず、参加者は460名を超えて、会員発表は66題の口演発表・ポスター発表を頂き、有意義な学術大会を開催することができました。ところで、本学術大会はテーマを「歯科審美 さらなる高みを目指して」としました。21世紀を迎え、日本も生活歯のホワイトニングが広く行われるようになりましたが、歯を削ることなく、審美性を改善できるホワイトニングはMIの概念に適した治療法であり、患者の歯に対する意識の向上も期待できます。さらには口腔インプラントならびにCAD/CAMによるメタルフリー修復物の普及拡大、接着歯学の発達、コンピューターを使用した顔貌分析と審美歯科への応用など歯科治療を支える周辺技術の進歩は日進月歩です。先進医療に関する法律の整備が進められ国民の関心が高まっている今こそ、歯科治療の現状を打ち破る新たな挑戦が望まれます。

本学術大会は、海外公演としてDr. Salvatore Lotardo (AACD)、Dr. Jooseob Shin (KAED) から歯科審美治療についてのご講演をいただき、シンポジウムは「ホワイトニング up to date」(大槻昌幸先生、武井典子先生、福島正義先生、酒井麻里先生、伊藤修一先生、住友雅人先生、坂本佳昭先生、椿 知之先生)、「義歯治療による審美歯科」(阿部二郎先生、天井久代先生)、「女性歯科医師の審美歯科」(橋場千織先生、林 美穂先生、天川由美子先生)の討論をいただきました。特別講演は、北海道医療大



懇親会にて

学歯学部長の齋藤隆史先生、UCLA教授の小川隆広先生に歯科審美医療の将来展望をしていただきました。教育講演は「口腔ケアによる歯科審美」（山田律子先生、村松真澄先生、渡邊紀子先生）、「審美歯科の歯科技工」（末瀬一彦先生、山田和伸先生）、「矯正治療の現在」（上地 潤先生、不島健持先生）、「保存領域の教育講演：審美歯科と心美歯科？－MIの概念にもとづいた審美歯科－」（富士谷盛興先生）、「インプラントの歯科審美」（増木英郎先生、千葉豊和先生）の5つの内容を講演していただき、また、宮内修平先生に理事長講演、疋田一洋先生に市民公開講座、そして和田精密歯研株式会社、ストローマン・ジャパン株式会社、クラレノリタケデンタル株式会社からランチョンセミナーが行われました。8月27日（土）には、メインテーマを「歯科審美と医用歯科機器の融合」とした第26回日本医用歯科機器学会研究発表大会（学会長：末瀬一彦先生、大会長：越智守生）が併催され、盛況のうちに終了しました。

一般会員懇親会は、当初の参加予定者よりも大変多くの皆様に参加していただき、急遽、料理の追加をすることで見た目は何とか取り繕うことができましたが、会員の皆様には食事の内容等に何かしらのご迷惑をおかけしたのではないかと気がかりな思いが残りました。しかし、お陰様を持ちまして本大会も極めて円滑に運営され、滞りなく盛会裡に終了できましたことは、これも偏に会員皆様をはじめ関係各位の絶大なるご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。ここに衷心より謝意を表しますと共に今後とも特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第28回一般社団法人日本歯科審美学会学術大会は、第10回国際歯科審美学会（IFED）との共催で平成29年9月14日（木）～17日（日）に富山国際会議場で行われる予定です。また、皆様とお会いできることを楽しみにしています。



左から廣瀬実行委員長、越智大会長、宮内理事長、仲西準備委員長

AAAD参加報告

第14回 アジア歯科審美学会参加報告

大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野 若林一道

2016年11月13日～15日まで、タイ・バンコクのSukhumvit Hotel Bangkokにて14th Asian Academy of Aesthetic Dentistry Biennial Congress 2016 & 1st MiCD Global Symposiumが開催されました。本学会では“Enhancing Smiles at Minimal Biological Cost”をテーマとしています。当初、本学会は会長のDr.Sushil Koiraraの母国のネパールで開催を予定していましたが、地震による影響のため、タイでの開催となりました。スワンナプーム国際空港から会場近くのホテルまでタクシーを利用したのですが、至る所で先日亡くなったプミポン国王の黒を基調とした看板？が掲示されていました。また、学会の始まりや終わりには国王を追悼するビデオが流され、参加者全員で敬意を評しました。

内容は13日はプレコンgresとして、Dr.Sushil Koirara、Dr.Dinos KountourasによるMiCDコンセプトに基づいた全顎的咬合再構成に関する講義や治療のデモンstrーションが行われました。14日はMI Restorative Dentistryとして5演題、MI Treatment Planningとして3演題、15日はMI Foundation Scienceとして1演題、MI Technologyとして4演題、Asian Showcase of AAAD speakersとして12演題、講演が行われました。本学会からは International invited speakerとして千田 彰先生が“Recent Development in Esthetic Ad-



プミポン国王を追悼する巨大看板



タイの子供たちによる民族舞踊

hesive Dentistry” というタイトルで、JAEDから木林博之先生が “The Symmetrical Central Incisors—Gingival framework with Subgingival Contours—” というタイトルで講演されました。

学会長のDr. KoiraraはMiCD Concept (Minimally Invasive. Cosmetic Dentistry) を提唱されており、本学会のテーマが “Enhancing Smiles at Minimal Biological Cost” でしたので、講演やデジタルポスターによる発表ではダイレクトボンディングによる審美歯科治療に関する内容が多かったように感じました。

第15回学術大会は平成30年にDr. Ronnie Yapのもと、シンガポールで開催される予定です。アジアにおける審美歯科治療を知る良き機会ですので、お時間のある先生は是非ご参加ください。



学会会場



千田 彰先生の講演



木林博之先生の講演

セミナー報告

平成28年度 第2回セミナー開催報告

愛知学院大学歯学部附属病院 歯科衛生士 山羽京子



平成28年6月5日(日)に、東京カンファレンスセンター有明にて平成28年度第2回セミナー(東京都歯科衛生士会後援)が開催されました。歯科医師3名、歯科技工士1名、歯科衛生士57名、計61名の参加がありました。主に歯科衛生士対象としたセミナーで、「これからの歯科衛生士業務を考える」というテーマで5名の先生にお話ししていただきました。

午前中はセミナー統括部長の真鍋厚史先生による「日本歯科審美学会の活動について」。次に、金澤紀子先生(日本歯科衛生士会前会長、現在顧問)による「歯科衛生士法改正の経緯と業務の展望」、山口幸子先生(尾崎歯科医院 歯周病認定衛生士、臨床歯周病認定歯科衛生士)による「歯周病治療における歯科衛生士の役割」をご講演いただきました。午後は、植田絵美子先生(ウィルファースト 元ANAのCA)から「患者様のモチベーションを高めるおもてなし」、石野由美子先生(二子玉川ガーデン矯正歯科 日本歯科審美学会歯科衛生士認定士)から「歯科審美におけるMFTの役割」をご講演いただきました。

ご講演後5人の先生方によるディスカッションでは、診療所からこれからの地域への歯科衛生士活動や取り組み方、口腔内診査時の注意事項、クレームなど患者さんへの対応、笑顔をつくるMFTなど多方面にわたる歯科衛生士の在り方が繰り広げられました。また、笑顔をつくるMFTは実際に会場のみなさんと一緒に練習をして盛り上がり、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

次回、平成28年度第3回セミナーは、平成28年11月27日(日)「これからの歯科審美治療を語る」と題しまして、鹿児島県歯科医師会館5階大ホールにて開催されます。今後とも会員の皆様にとって有益な情報を提供して歯科審美の発展に寄与していきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただけたら幸いです。



セミナー報告

第38回 ホワイトニングコーディネーター(WC)講習会・認定試験報告

千葉県開業 古谷彰伸



平成28年10月2日(日)、福岡のTKPガーデンシティ博多新幹線口で第38回WC講習会を開催し、担当委員として参加しました。

看板が小さく目立たないため、会場入口が非常にわかりずらかったですが、講習会+認定試験受験者数：DH125名、聴講のみ(WC認定更新のため)：DH12名、聴講のみ歯科医師：2名の合計139人が集まりました。

皆熱心に講習を聞き、質問も多数出ました。新規受験のDH125名が認定試験に挑みました。試験終了後にも講師に数多くの質問がありました。WC資格を活かして多くの患者さんを美しく幸せにしてほしいです。

以前も男性DHがWC受講した事が有りますが、今回の受講者の中にも男性DHが1名いました、お話をすると日本全国に男性DHは50人弱いるとのこと、学会誌や歯科雑誌で男性DHの活躍を特集して欲しいと思いました。

次回は第39回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験/平成28年11月27日(日)大阪：梅田スカイビル(満席、受付終了)、第40回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験/平成29年2月12日(日)金沢：TKP金沢ビジネスセンター(受付中)。本年度最後のWCになりますので開催地石川県やお近くの福井県、新潟県や長野県のDHの方、早期WC資格取得希望の方、お早めの申し込みをお願い致します。

私もWC制度創設からずっと委員(2年間のお休み以外)をさせて頂き、本年度で任期終了になります、多数のWC養成と日本歯科審美学会のDH会員の大幅増加に関われたことを光栄に思います、今後もWCになったDHの活躍に期待と応援をしたいですね。



優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ シロナ賞を受賞して

大阪市開業 日野歯科医院 日野年澄



このたび私の「高透過性マルチレイヤードジルコニアを用いた審美修復症例」と題しました発表が、平成27年度第26回学術大会で優秀発表賞（デンツプライ シロナ賞）に選ばれ、第27回学術大会において表彰に与り、大変嬉しく光栄に存じております。

私は1985年に大学を卒業後、約10年間補綴学講座に籍を置き、審美修復用セラミックスなどの研究に携わっておりました。当時はキャストブルガラスセラミックスをはじめ、ニューセラミックスと呼ばれた新しいオールセラミック修復材料やその製作方法の開発競争が繰り広げられており、私もメタルフリーの時代が目前だと信じる者の一人でした。

しかし様々な問題から、期待を寄せていた材料のほとんどが姿を消し、改良を重ね生き残った材料によるオールセラミック修復も、ごく限られた適応症の範囲内でしか応用できない状況が続いておりました。そうした中、クラレノリタケデンタルが、後に第3世代と呼ばれることになる高透光性マルチレイヤードジルコニアを開発、第2世代のジルコニアと適切に使い分けることで、症例や部位を選ぶことなく審美的、強度的に優れたメタルフリー修復をすることが可能になりました。患者様の健康美に貢献できる素晴らしい材料が開発されたことは大きな喜びであり、その使用の機会を与えてくださったカस्पデンタルサプライの山田和伸先生とクラレノリタケデンタルに感謝申し上げます。

また、大学関係者、開業医、技工士、衛生士が一堂に会することが大きな特徴である本学会において、大学の研究発表ばかりでなく、臨床報告発表に対しても受賞の栄誉を与えてくださったことは、私たちにとっては大きな励みとなることであり、今回の発表を評価してくださった学会関係各位にも心からお礼申し上げます。今後さらに新しい材料や技術の知見を深め、審美歯科治療を通じて患者様の幸福に貢献していくことが私の願いであり、本学会は私にとって不可欠な存在だと思っております。今後も学会がさらに大きく発展されることを心から祈念いたしております。

委員会報告

歯科審美編集委員会

日頃、本学会の学術雑誌「歯科審美」の発行にご協力をいただき感謝申し上げます。お陰様で今年9月に、「歯科審美」第29巻第1号を発行できました。この号では、総説1編、原著2編、症例報告3編(うち認定医プレゼンテーション・長期症例2編)、臨床のヒント1編および特集2編、合計9編の論文を掲載しております。総説では、デジタル化の導入による審美歯科治療の変化そして将来展望について機能解析を中心に解説されております。原著論文は、口腔内の金属色に対する注視点分析、新規歯磨剤のステイン除去能力の臨床的評価について各々興味深い研究結果を示しております。また、特集では、「歯科衛生士主導のプライムヘルスプログラム」をテーマに取り上げ、2名の先生からその概要をご解説戴きました。紹介文にも記載されているとおり、マネジメント歯科衛生士の役割とプライムヘルスという新しい予防歯科の概念を理解し、実践に移さなければならない時代が到来していると思います。本学会は、歯科衛生士の会員数が著しく増加しております。歯科診療において歯科衛生士が果たすべき役割を再認識するよい機会でもあると思います。是非ご一読いただき、今後の臨床にお役立ていただきたいと思っております。

今号と前号を合わせ、認定医プレゼンテーション・長期症例が6編掲載されました。本学会認定医制度施行細則第7条(認定医審査に合格したものは、直ちにプレゼンテーションを行った長期症例について歯科審美に臨床論文として投稿しなければならない)を遵守されている会員の皆様が確実に増えてきております。今後、増々この傾向が強くなることを期待しております。

昨今、学会発表や論文掲載において利益相反(COI)の申告が必要になり、この件に関して本学会におきましても理事会で検討を重ねて参りました。その結果、「歯科審美」にご投稿いただく際に、第29巻第2号からCOI自己申告書(学会ホームページからダウンロードして使用)の提出が義務付けられました。論文投稿時におけるCOI自己申告の義務化に伴い投稿規定を更新し、第29巻第1号に更新された投稿規定が掲載されております。今後投稿される場合、この投稿規定に従っていただきたいと思います。

「歯科審美」への投稿数の減少傾向が止まりつつあります。今後も症例報告、臨床のヒント等臨床論文の掲載を重視していきたいと考えておりますので、認定医、認定士の先生方をはじめ、会員皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会 (JAED) は、韓国 (Korean Academy of Esthetic Dentistry) およびアメリカ (American Academy of Cosmetic Dentistry) の学会と姉妹協定を結んでおり、演者や論文の交流を進めています。2016年8月の札幌大会にはAACDよりDr. S. Lotardoを、KAEDよりDr. Shinをそれぞれ演者として派遣いただきました。札幌では、姉妹協定を結ぶ3学会 (AACD、KAED、JAED) でビジネスミーティングを行い、今後の交流について意見を交換しました。また、AACDの公式雑誌2016年夏号に協智典先生 (東京都) の症例報告が掲載されました。

JAEDIは、IFED (International Federation of Esthetic Dentistry) およびAAAD (Asian Academy of Aesthetic Dentistry) に組織加入しています。11月には、AAAD (アジア歯科審美学会) がバンコクで開催されました。この学会の詳細は、若林国際渉外委員のレポートをご覧ください。また、2017年9月に開催されるIFED富山大会 (千田 彰大会長) では、アメリカ (AACD)、韓国 (KAED) よりゲストをお招きし、姉妹協定を結ぶ3学会のセッションを開催予定です。

審美関連の国際学会情報は、JAEDホームページに掲載いたします。また、JAED札幌大会、AAADバンコク大会などの写真を日本歯科審美学会の公式フェイスブックページに掲載しております。ぜひご覧ください。よろしくお願いいたします。

(委員長 中村隆志)



Dr. Lotardoと越智大会長



3学会ミーティング参加者

国内渉外委員会

本学会では、歯科衛生士および歯科技工士をはじめ関係医療職種
の教育機関を対象に、歯科審美学の啓蒙を図るべく「出張講義」
を実施してまいりました。これまでも多くの専門学校から要請
をいただき、認定医および認定士の先生方にお忙しいところご足
労をいただいています。平成28年度は10月31日現在、歯科衛生
士専門学校33校、歯科技工士専門学校6校から要請をいただき、
現在も全国各地で出張講義を行っています。出張講義にあたっては、
認定医および認定士の方で事前にご登録いただいています先生方
に個々に直接ご依頼申し上げていますが、特に北海道・東北地区
および九州地区においては該当の認定医および認定士のご登録が
極めて少なく、同一の先生に何度もお願いしたり、遠方より派遣
せざるを得ない状況です。認定医または認定士を取得されていま
す代議員の先生方におかれましては、ぜひともご登録をお願い申
上げます。

歯科衛生士専門学校では、「歯科審美学」を教育カリキュラムの
中に配している学校は少なく、本学会の出張講義を重要な位置づ
けにいただいているところもたくさんあるようです。特に最近
では「ホワイトニング」に関する講義を要望されることも多く、
出張講義をしていただいています先生方にもご負担をおかけして
いることと存じます。また、講義時間は90分を基本原則としてい
ますが、学校によっては90分×2を要望されることもあるよう
です。本学会の「出張講義」は、ほぼ定着してきたようでありま
すので、今後は「出張講義」を本学会の発展のためにどう活かし
ていくか？検討していかなければなりません。建設的なご意見が
あればぜひともお聞かせください。 (委員長 末瀬一彦)

教授要綱改訂ワーキンググループ

教授要綱改訂ワーキンググループ活動報告

本学会では平成13年4月23日に教授要項を策定し、活動の柱
として活用されてきております。しかしながら15年経過した現時
点まで、改訂されていませんでした。時代の流れと社会の要請に
即した学会活動を行ううえで、また本学会の方向性を明確にする
ためにも改訂が必要との認識から、昨年11月に宮内理事長同席の
もと準備委員会が開かれ、改定の必要性ならびに方向性を打合わ
せました。

その結果、(1)基本的に現在の「歯科審美学教授要綱」の内容
を踏襲する、(2)「教授要綱」を「学習カリキュラム」とする、(3)
改訂した内容を認定医試験ならびに学術大会、各種セミナー等に
反映させる、ことを骨子として本年2月18日、6月16日、9月
12日の3回にわたりワークショップ形式で改訂作業を行いました。

改訂した日本歯科審美学会学習カリキュラムは以下の項目からなります。

A) 基本的な能力

(1)形態 (2)色調 (3)機能 (4)加齢

B) 臨床的な能力

(1)診察・検査、診断 (2)治療と管理 (3)機器

C) 審美歯科治療における関連事項

(1)医療連携 (2)医療倫理、感染予防対策、個人情報保護 (3)

EBMの必要性和生涯学習の習慣

それぞれに一般目標(GIO)、行動目標(SBOs)、行動学修目標(LS)があり、中項目、小項目を設けました。皆様のご意見を伺いながら有効活用できるよう、成熟させていくことが今後の課題となります。近々ホームページに掲載するはこびですので、是非ご覧ください。(委員長 藤澤政紀)

【委員会構成】

委員長・藤澤政紀

委員・大槻昌幸、齊木好太郎、佐藤博信、末瀬一彦、武井典子、奈良陽一郎、橋場千織(五十音順)

幹事・遠藤 聡(平成28年3月まで)、勅使河原大輔(平成28年4月より)

.....

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えて臨床例をプレゼンテーションいただき、その審査を行っています。認定医申請時のケースプレゼンテーションに関しましては、そのポイントを“歯科審美第29巻1号”に掲載しております。これを参考として、ぜひ多くの会員に認定を取得していただければと考えております。また、症例写真には、顔貌写真とともに笑顔の写真も加えていただければ、より審美性との関連が理解できるので、お願いしたいところであります。

以下に、平成28年度に行われました本委員会および今後の予定を報告させていただきます。

【認定審議会の実施状況】

1. 平成28年6月16日 平成28年度 第1回認定医・認定士合同審議会

1) 第40期新規認定医審査：書類審査7名(全員)合格

2) 第16期新規認定士審査：書類審査1名 合格

3) 認定医更新書類審査：書類審査6名(全員)合格

4) 認定士更新書類審査：書類審査1名 合格

2. 平成27年8月6日 平成28年度 第2回認定医・認定士合同審議会

1) 第38期新規認定医審査：口頭試問審査7名(全員)合格

2) 第16期新規認定士審査：口頭試問審査1名 合格

【今後の予定について】

- ・ 第41期認定医試験書類審査結果通知：平成28年11月28日(月)
- ・ 症例提示および口頭試問：平成29年1月19日(木)

取得の資格を有しておられる会員におかれましては、是非とも書類を整えられるとともに、症例につきましては準備をされますようお願い申し上げます。なお、申請に当たりましては本学会ホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。

(委員長 宮崎真至)

.....

セミナー委員会

《報告事項》

●第3回歯科審美セミナー@鹿児島

【テーマ】『これからの審美歯科を語る』

【会期】2016年11月27日(日)

【会場】鹿児島県歯科医師会館5階 大ホール

【参加者】会員歯科医師26名、非会員歯科医師17名、会員歯科衛生士10名、非会員歯科衛生士10名、会員歯科技工士2名、非会員歯科技工士7名(合計72名)

【プログラム】

『日本歯科審美学会の活動について』

宮内修平(日本歯科審美学会会長)

『一般開業医における、矯正治療の導入』

林田裕伸(林田歯科クリニック・鹿児島県薩摩郡さつま町)

『審美歯科修復におけるこれからのテクニシャン像』

迫田孝一郎(デンタルセラミックオフィスハイグロス・鹿児島市・歯科技工士)

『総義歯の難症例への対応』

松丸悠一(コンフォートデンタルクリニック・札幌市)

『DHとの信頼関係がもたらす患者さんの審美的要求』

向江海子(ユミデンタルオフィス・鹿児島市・歯科衛生士)

『真の審美歯科を目指して』—一生の時間軸で考える歯科臨床—』

白石豊彦(白石歯科・鹿児島市)

『審美インプラント補綴修復を成功させるためのティッシュマネジメント』

松浦 明(まつうら歯科クリニック・武雄市)

《今後の予定》

●社員総会特別セミナー(2017年06月25日)

(委員長 有田博一)

ホワイトニングコーディネーター委員会

今年度は6月5日に東京コンファレンスセンター有明で330名、10月2日に福岡TKPガーデンシティ博多で125名、11月27日に大阪梅田スカイビルで300名の参加でホワイトニングコーディネーター講習会、認定試験が開催され、東京、大阪会場ではキャンセル待ちが出るほどの人気でした。また8月27・28日に札幌で開催されました第27回日本歯科審美学会学術大会におきましては、「ホワイトニング up to date～口腔ケアに貢献する歯のホワイトニング治療」と題したホワイトニングアドバンスセミナーが開催され、多くの歯科衛生士の方々にご参加いただきました。武井典子副理事長が「超高齢者の審美歯科と認定士へのステップアップ」、福島正義理事が「高齢者の審美歯科としてのホワイトニング」、前ホワイトニングコーディネーター委員の酒井麻里先生が「ホワイトニングを含めた新しい口腔管理方法の紹介」、地元北海道医療大学の伊藤修一先生が「ホワイトニングが歯質に与える影響」、日本歯科医学会会長の住友雅人先生が「ホワイトニング治療、信頼を得るルール」、坂本氏が「審美歯科から予防歯科へ」という題で講演されました。また私椿からは昨年、学会が法人化されたため改定されたホワイトニングコーディネーターの新制度の説明をさせていただき、その後全員でディスカッションが行われました。今年度は残り1回となり、平成29年2月12日に石川県TKP金沢ビジネスセンターで開催される予定です。 (委員長 椿 知之)



歯科衛生士部門

平成28年6月5日(日)東京カンファレンスセンター有明にて第2回セミナーが開催されました。今回は歯科衛生士を対象としたセミナーで歯科衛生士法の改正について、歯周病関連、患者への対応方法、MFTなどでした。第3回セミナーは11月27日(日)・

鹿児島歯科医師会館にて開催されます。

平成28年8月26日(金)～28日(日)・京王プラザ札幌にて第27回日本歯科審美学会学術大会が開催され、認定士講習会歯科衛生士の教育講演や、ホワイトニングコーディネーター更新講習会のシンポジウムもあり、たくさんの参加がありました。来年度平成29年9月17日(日)・第28回日本歯科審美学会学術大会は、富山県富山国際会議場ならびにANAクラウンプラザホテル富山にて第10回国際歯科審美学会(IFED)平成29年9月14日(水)～16日(土)に併催されます。美味しいものがたくさんある富山での学術大会、奮ってご参加ください。詳しくはホームページをご参照ください。

平成28年10月2日(日)、福岡TPKガーデンシティ博多新幹線口にて第38回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が開催され、125名ものホワイトニングコーディネーターが誕生しました。

11月27日(日)大阪梅田スカイビルにて第39回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が開催されますが、すでに定員に達したため申し込みは締め切りましたが、平成29年2月12日(日)・TKP金沢ビジネスセンターでも開催されます。

セミナー、学術大会、ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験など、どれも各委員会の先生方が思考を凝らしたものばかりです。自分のステップアップのために、職場スタッフのモチベーションアップのために、ぜひご参加ください。

(委員 山羽京子)

.....

倫理委員会

医療系分野においては産学連携による研究が行われることが多く、研究成果の社会への還元という公的な利益と同時に、金銭や利権の取得といった私的な利益が発生する場合があります、これら2つの利益が研究者個人に生じる状態を利益相反(Conflict of Interest : COI)と呼びます。COI状態があること自体はなんら問題はありませんが、産学連携等による研究の適正な推進を図るため、研究者が自らCOI状態を適切に開示することが求められています。

そこで日本歯科審美学会においても、「歯科医学研究等のCOI指針策定に関するガイドライン」(日本歯科医学会、平成26年1月)に則り、会員の皆様にCOIの開示を行っていただくことが、本年8月の理事会で正式に決定されました。つきましては、学会発表者、論文投稿者等を対象として、COI状態に関する自己申告および開示をすることが必要となります。COI状態の有無にかかわらず、全ての発表者に開示していただく必要がありますので、

ご理解のうえ、なにとぞよろしく願いいたします。

なお学会ホームページのトップにCOIのバナーが設けられ、指針および細則、自己申告書、学会発表時のスライド開示例が掲載されておりますのでご参照ください。（委員長 山本一世）

.....

表彰選考委員会

本学会では、学会運営、発展に貢献された会員の方に学会功労賞、「歯科審美」に掲載されました論文の中から、優秀論文賞（研究論文賞、臨床論文賞、奨励論文賞）を選出し、表彰させていただいています。

平成27年度優秀論文賞および平成28年度の学会功労賞の受賞者はございませんでした。

また、学術大会において素晴らしいポスター発表をされました方を代議員の先生方から選出していただきまして「優秀発表賞」を授与させていただいています。本賞は、「デンツブライ シロナ賞」と名付けています。東京で行われました第26回学術大会では、日野年澄先生（大阪府開業）の「高透過性マルチレイヤードジルコニアを用いた審美修復症例」が授与されました。また、平成28年度の第27回学術大会（札幌）では、前島健吾先生（東京都開業）の「BTAテクニックを用いた審美的治療を行った2つの症例」が授与されました。おめでとうございます。

「優秀発表賞」は毎年、多くのポスター発表が対象になり、僅差での選出になりますことは、優れた発表の多いことを物語っていると思います。これからも、会員の皆さんには積極的な発表をお願いします。しかし、残念ながら「優秀論文賞」のほうは、最近を対象論文が少なく投票までに至らないことも多く、「該当者なし」が続いています。会員の皆さんには、ぜひとも口頭またはポスター発表されました内容を論文にいただき、「歯科審美」への投稿をお願い申し上げます。

（委員長 末瀬一彦）

.....

表彰委員会

表彰委員会の事業として「学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞（デンツブライ賞）」の表彰を行うことがあります。本委員会の報告として、直近の表彰についてお知らせいたします。

1. 平成28年度学会功労賞受賞者・受賞者なし
2. 平成27年度優秀論文賞受賞者
 - 1) 優秀研究論文賞・受賞者なし
 - 2) 優秀臨床論文賞・受賞者なし
 - 3) 優秀奨励論文賞・受賞者なし

3. 第26回学術大会(2015)における優秀発表賞(デンツブライ シロナ賞)受賞者

(受賞者氏名) 日野年澄

(所属機関名) 大阪府開業・日野歯科医院

(演題名) 高透過性マルチレイヤードジルコニアを用いた審美修復症例

(発表学会) 第26回日本歯科審美学会学術大会(2015年11月)P-36

今回は、残念ながらデンツブライ シロナ賞以外の該当者はありませんでした。これからも、会員の皆さまのさらなるご尽力をお待ちしております。 (委員長 佐藤 孝)

.....

会則検討委員会

時の流れは、太古の昔から一時も留まることなく悠然と流れています。そして、この流れは、誰も止めることは出来ないばかりか、その秘めたるパワーは想像を遥かに凌ぐともいえます。

日本歯科審美学会も、時の流れの中で生まれ、昨年4月1日設立年月日・登記をもって、“一般社団法人 日本歯科審美学会”としての新たな一歩を踏み始めました。会則検討委員会は13の委員会の中に在って、会員各位の活動を含め、他の委員会や学会本体としての事業が円滑かつ適正になされるよう、“律格”の領域から支援する役目を仰せつかっています。具体的には、任意団体の時の根幹的“定め”である『会則』を、法人法に則った『定款』へと修正する要務を経て、これに整合した規則・細則等への改訂作業を司ってきました。

『定款』第2章第6条には、「(2) この法人は、別に定める規定によって正会員の中から選出された100名以上200名以内の代議員をもって社員とする。(3) 代議員を選出するため、正会員による代議員選挙を行う。代議員選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。」が明記され、また役員である理事・監事については、第21条に「理事及び監事は、別途定める選出方法により選出された者の中から、総会の決議によって選任する。」とあります。すなわち、法人化された本学会の運営・活動の基盤は、皆様会員の意志によって成されることが明確化されています。これら“定め”に基づき、来年6月開催の社員総会に向けて、代議員・理事の立候補や推薦、ならびに当該人材としての会務継続の意志確認について、最近頻りに事務局からメールや郵便がお手元に届いているものと拝察します。

どうか、会員の皆様、国民・患者の期待に応える日本歯科審美学会を見据え、各位の意志をお示しくくださいますようお願いいたします。 (委員長 奈良陽一郎)

ホームページ・ニュースレター委員会

皆様のお力添えによりニュースレター(NL)第34号を無事に発行することが出来ましたことを深く感謝申し上げます。今回のNLには、齋木副理事長からの巻頭言、大会報告および案内、各委員会報告、セミナー報告など盛り沢山の内容が掲載されていますので、ぜひお楽しみください。NLは学会誌「歯科審美」の合間に年2回発行しております。バックナンバーはホームページから閲覧出来ますので、どうぞホームページと合わせてご利用ください。ホームページ(HP)には、最新のセミナー開催予定、学術大会の予定など頻りにアップデートされていますので、www.jdshinbi.net/へアクセスお願いします。「**審美学会**」で検索いただいても結構です。また認定医、認定士を目指す先生方には詳細な案内や記録簿の見本等がダウンロードできますので、ご利用いただければ幸いです。今回HPには利益相反(ICO)に関する指針についてというバナーが新設されました。ICO申告書の提出は学会誌への投稿の際や学術発表の際に添付が義務つけられております。簡単に申告できますように申告書がダウンロードできますので、ご利用ください。最新の情報をアップできるように委員一同心がけておりますが、何かお気づきの点がございましたら、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。HP・NLの更なる充実のため、会員皆様のご協力をお願い致します。

今号は宮内理事長体制では最後のNLとなります。長年NLの発行に携わらせていただきました私にとりましても、最後のNLの編集となりました。長年にわたり、ご協力いただきました皆様
に感謝申し上げます。(委員長 橋場千織)

会員数(平成28年10月15日現在)

【会員数/5,237名(賛助会員含む)】

A会員(歯科医師など)/2,659名

B会員(歯科技工士)/117名・(歯科衛生士)2,410名

(その他)/25名

賛助会員/26社

【認定医数/143名】

【歯科技工士認定士数/25名】

【歯科衛生士認定士数/35名】

【ホワイトニングコーディネーター数/3,180名】

※年会費のお支払いはお済みですか？

年会費のお支払いが滞りますと、学会誌送付を停止させていただき、最終的には定款第11条に基づき会員資格を喪失することとなります。お支払いいただいているか改めてご確認をお願いします。

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



カポデンタルシステムズジャパン株式会社 オームジャパン
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35
御殿山トラストタワー15階
Tel: 03-6859-0065
<http://www.kavo.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソスミスクライン・コンシューマーヘルスケア・ジャパン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>



クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-296303
<http://www.mmm.co.jp/unitek>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜臨宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

kuraray

Noritake

NEW

管理医療機器
歯科用セメントキット

パナビア® V5

医療機器認証番号：226ABBZX00106000

高審美

色調安定性に優れた
5色のセメントペースト

高接着

パナビア®F2.0の
3倍の象牙質接着を実現*

シンプルな構成

2液だったセルフエッチング
プライマーが1液に



※ 牛歯象牙質に対する引張接着強さ



●パナビア® F2.0 管理医療機器 歯科接着用レジンセメント
医療機器認証番号：224ABBZX00029000

製造販売元

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル

☎0120-330-922

販売元

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

お客様相談センター：0800-222-8020

●「パナビア」及び「MDP」は株式会社クラレの登録商標です。



ALIAS™

LINGUAL STRAIGHTWIRE BRACKET SYSTEM
Designed with Drs. Kyoto Takemoto and Giuseppe Scuzzo

世界初 パッシブセルフライゲーション スクエアスロット リングアルストレートワイヤーシステム

ア リ ア ス

アリアスは、舌側矯正の世界的リーダーである竹元京人先生と
ジュゼッペ・スクッツ先生の永年の共同研究の集大成です。

簡便性 SIMPLICITY

セルフライゲーションのためワイヤーの交換が早くシンプル
な治療が可能になりました。また、摩擦抵抗も少なく
なり、歯の動きも早くなりました。

効率性 EFFICIENCY

世界に先駆けてスクエアスロットを採用
し、より精密な歯の移動を可能にしまし
た。ストレートワイヤー法により更に違
和感が軽減されました。



快適性 COMFORT

サイズがとても小さく、しかも表面処理が
なめらかなので、患者様は治療中も快適に
過ごせます。



Ormco
Your Practice. Our Priority.

オームコジャパン カボデンタルシステムズジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 15 階 www.kavo.co.jp

販売名：アリアス 分類：管理医療機器 一般的名称：歯列矯正用アタッチメント 医療機器認証番号：226ADBZX00045000

Thinking ahead. Focused on life.

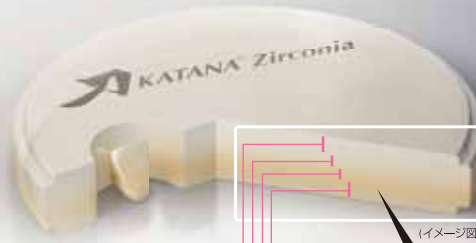
100+
Years
A Century of Innovation



ノリタケカタナ®ジルコニア KATANA® Zirconia

ジルコニアの新たな可能性を切り開く
エナメル質に近似した透光性を持つシリーズ追加!!

色調の異なるジルコニアを積層したマルチレイヤードジルコニアに、
高い透光性*を有するUTML・STMLを追加しました。
審美的な前歯フルジルコニア修復物が最小限の作業で作製できます。



4層構造

エナメル層 (35%)

グラデーション層1 (15%)

グラデーション層2 (15%)

ボディ層 (35%)

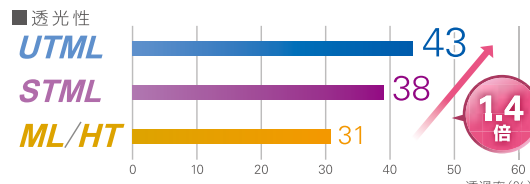
()内%はディスクに占める各レイヤーの厚み

■焼成ディスク断面

独自の製法により、色調ギャップ
の少ない滑らかなグラデーション
を有します。

従来ジルコニアの1.4倍の透光性

独自の研究・開発により、ジルコニア原材料の透光性を1.4倍に向上しました。
これにより、透明感のある修復物が作製できます。



●販売名 ノリタケカタナジルコニア ●一般的名称 歯科切削加工用セラミックス
●医療機器認証番号 223AFBZX00185000 ●医療機器の分類 管理医療機器 (クラスII)

製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社 新潟県胎内市倉敷町2-28 〒959-2653

販売 株式会社 **モリタ**
大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525
東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161
お問合せ お客様相談センター T 0800.222.8020 (フリーコール)
www.dental-plaza.com

3M Science.
Applied to Life.™

APC™ Flash-Free 接着材付き アプライアンスシステム



接着材&
不織布ファイバー付き

簡単! 正確! スピーディー!
1歯15秒^{※1}のポジショニングと
1.9%以下^{※2}の低い脱落率を両立。

※1 According to... early users, APC Flash-Free Adhesive has shown a 40% reduction in bonding time... S10659, 03/2013.

※2 ブラケット脱落率調査結果(矯正歯科医42名による評価)

3M Unitek Customer Evaluation Reports, 42 Doctors, N.America/Australia/Europe, 1997 brackets bonded 2012-13

APC™ Flash-Free
Adhesive Coated Appliance System

販売名: クリアティ セラミック ブラケット 認証番号: 219AKBZ00120000
販売名: クリアティ SL セルフライグーディングアプライアンスシステム 認証番号: 219AKBZ00092000
販売名: ビクトリー シリーズ デュープ 認証番号: 219AKBZ00174000
販売名: ビクトリー シリーズ メタル ブラケット 認証番号: 219AKBZ00142000
3M, APC, ユニテック, ビクトリー シリーズ, クリアティは、3M社またはその関連会社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー
ユニテック製品部
<http://www.mmm.co.jp/unitek>

お問い合わせは カスタマー サービスへ

☎0120-296-303

※受付時間 9:00~17:30 月~金 (土・日・祝日を除く)

※フリーダイヤルが繋がらない場合 03-6409-3064

BIOCLEAR

Anterior Matrices



Closing the gaps for a beautiful smile



BEFORE



AFTER

バイオクリアーマトリックス前歯用 一般医療機器 医療機器届出番号:13B1X10098110002

製造販売業者  EIKO CORPORATION

販売業者  株式会社モリムラ

株式会社エイコー

〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
TEL.03-3834-5777 FAX.03-3837-2655

株式会社モリムラ

東京本社: 〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10

TEL.03-3836-1871 FAX.03-3832-3810

大阪営業所: 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町5-8

第1マイゲビル401号

TEL.06-6170-3239 FAX.06-6170-8249

<http://www.morimura-jpn.co.jp>

オフィスホワイトニングライト
ブリリカ ビアンコ
BRILLICA bianco



専用開口器に
装着するだけ

コンパクトタイプで場所をとらない

照射位置の調整不要

様々な薬剤に対応、高い光出力

安心・信頼の日本製!!



開口器装着型 LEDホワイトニングライト
[ブリリカ ビアンコ]

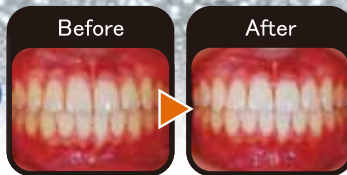
医療機器

寸法: W141×D85×H43mm、質量: 約100g
医療機器届出番号: 14B2X00036000008
(一般医療機器・特定保守管理医療機器)

定価: 380,000 円

一般的名称: 歯面漂白用加熱装置 販売名: ブリリカ ビアンコ

従来の
ホワイトニングより
簡単に、効果的に!



株式会社 **東京技研**

【東京本社】〒158-0087 東京都世田谷区玉堤 1-25-13 tel: 03-3703-5581
【横浜工場】〒224-0023 横浜市都筑区東山田 4-42-37 tel: 045-591-4441

URL: <http://www.tokyogiken.com> e-mail: TG@tokyogiken.com

ブリリカビアンコ

検索

PRECISION MICROSCOPE

Bright Vision®

高い精度と充実した機能を標準装備
コストパフォーマンスに
優れた手術用マイクロスコープ



オプション

バリオ オブジェクトブ レンズ



対物レンズの焦点距離範囲が100mmに広がり、術中のクイックなフォーカシングが可能となるオプションです。

新規導入時 標準価格 **¥300,000**

**Full HD
1080**

従来比約6.8倍の情報量

フルハイビジョンカメラ内蔵モデル

[LED照明] [FULL+HDカメラ内蔵] 標準価格 **¥2,400,000**

一般産業用器具 機械器具(25) 医療用器具 可搬型手術用顕微鏡 (96364020) 医療機器届出番号:1382X0022000043号 特定保守管理区域機器

製造販売元: **ペンタロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／宮内 修平

編集／一般社団法人日本歯科審美学会

ホームページ・ニューズレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/